

近現代建築に関わるボーンデジタル資料の 継承に関する調査について

[調査報告]

小池 周子*、秋岡 安季**

Research on the succession of Born-Digital Design Records Management in Modern Architecture

KOIKE Shuko*, AKIOKA Aki**

This project examines the preservation of Born-Digital Design Records, an area where practical progress remains limited in Japan, and this paper provides an overview of this research. Based on on-site surveys at two locations in Japan, along with case studies and reports from four international organizations, it offers current responses to issues identified by NAMA. This report will support NAMA and other domestic organizations in organizing Born-Digital Design Records.

キーワード：ボーンデジタル、建築資料、ボーンデジタル建築資料保存、近現代建築

Born-Digital, Architectural Archival Item, Born-Digital Design Records succession, Modern and Contemporary Architecture

本調査報告書は、文化庁国立近現代建築資料館Webサイト内にて公開されており、本紀要と合わせて参照いただきたい。<https://x.gd/QGTUf>



1. はじめに一調査背景と目的一

ボーンデジタル資料とは、コンピューター環境下で発生した資料を指す。つまり建築設計資料におけるボーンデジタル資料は、手書き図面やスケッチをスキャンしたのではなく、デジタル上で生まれ、育まれたデータ資料となる。建築業界における CAD (Computer Aided Design) の存在は、1963年の Sketchpad に始まり、1980年以降急速に進化してきた。今では CAD を使用していない建築家や建築事務所自体がほぼない状況と言って良いだろう。文化庁国立近現代建築資料館 National Archives of Modern Architecture, Agency of Cultural Affairs [NAMA] (以下、NAMA) へもデータ寄贈の相談が舞い込むようになり、収集方針にも関わる課題を含んでいる。現方針では収集対象にボーンデジタル資料について直接的な記載はないものの、「*2：明治初期から、建築設計のデジタル化が進む1990年代ごろまでに作成されたものを基本とする」とされている¹。しかしながら、これらデータ資料は補完資料として有効性は高く、増え続ける資料群に対し、将来的な国内資料保存管理を見据える必要があると考えられる。

建築設計は、長らく紙媒体での情報伝達を主としてきたが、近年はボーンデジタルが主流となり、データと

しても保存されている。長期保存に対する手法及び実績が蓄積されている紙資料と異なり、デジタル資料は加速的に進む技術発達の中で記憶媒体の更新が激しく、長期保存方法は確立されていない。よって、資料の滅失や読み取り方法を失う危険性を含んでいる。

デジタル資料の継承方法について、NAMA では令和2～4年度委託事業として「我が国の近現代建築に関わる構造資料及びその電子化継承に関わる調査」を実施し、建築資料の中でも電子化が先行する構造家資料の継承方法について調査を行っているが²、意匠分野での検討、アーカイブズ機関への収蔵を前提とした実践的な手法の構築を目指し、本調査を行うこととした。

2. 調査方法

専門委員へヒアリングを行い、ボーンデジタル建築資料整理を進めている国内団体が稀な現状で、どのように調査してゆくかについて意見交換が行われた。

助言を受け、本調査目的の見直しや今後の収集方針を含む NAMA での着地目標等、多くの課題が見えた。そこで今回は現状調査並びに海外の動向調査に注力し、以下の作業を進めた。

1) 諸外国におけるボーンデジタル建築資料調査動向

* 元・文化庁国立近現代建築資料館 研究補佐員、Amanek Inc. 代表、修士 (工学)

** 文化庁国立近現代建築資料館 研究補佐員、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程

- 2) 実地調査
- 3) 類似団体へのアンケート
- 4) 資料整理作業工程策定

3. 諸外国におけるボーンデジタル建築資料 調査動向

これまでボーンデジタル建築資料について議論されてきた海外での主要事例及び概要をまとめた。報告書にて以下14件の調査・ワーキング概要をまとめている。

- 1996 Society of American Archivists' 1996 American Archivist issue
- 2004 Chicago Institute of Art
- 2006 FACADE 2006
- 2007 Architecture and Digital Archives, Architecture in the Digital Age: A Question of Memory
- 2012 FACADE 2
- 2013 Digital Preservation Coalition's CAD Technology Watch Report
- 2013 Archaeology of the Digital
- 2017 Designing the Future Landscape: Digital Architecture, Design and Engineering Assets Summit
- 2018 Building for Tomorrow
- 2019 Archiving Digital Architecture Records: National Framework Trial
- 2020 Digital Preservation Coalition's Building a Digital Future: Challenges and Solutions for Preserving 3D Models
- 2020 Digital Architectural Archives Collections: Expanding Practices and Future Uses
- 2021 Society of American Archivists' 2021 American Archivist special issue on design Records
- 2021 Born-Digital Design Records: Practicalities from Appraisal to Use

1996年のSAA(Society of American Archivists)による*American Archivist*の特集に始まり、複数のイベント、マニュアル公開等、この30年弱でボーンデジタル建築資料の検討が躍進的に進められてきたかがわかる。特に建築資料においてはCADの普及やソフトウェアの多面化に伴い、より複雑な事情を含んでおり、建築実務者のみならず、IT専門家・エンジニア、アーキビスト、研究者といったさまざまな観点からの研究及び考察が積み重ねられている。しかし日進月歩の現代技術に対し、これまでの“もの(紙、模型等)”を扱うアーカイブ

ズに比べ、更に策定仕切れない変動する実情が発生し続けている。ソフトウェア制作会社やIT専門家、研究者による相互協力が今後の資料保存において不可欠な事象となっており、関連団体への呼びかけもされている。

4. 実地調査

葉祥栄資料のボーンデジタル資料整理を行っている九州大学大学院芸術工学研究院岩元研究室並びに、芦原義信資料を収蔵している武蔵野美術大学美術館・図書館とデジタル資料整理を進めている芦原建築設計研究所の2か所の実地調査を行った。

4.1. 九州大学大学院芸術工学研究院 葉祥栄アーカイブ

九州大学大学院芸術工学研究院・岩元真明准教授に葉祥栄アーカイブのヒアリングを行った。アーカイブ概要、受領から今に至る経緯、研究室内で旧式機材を使いながら資料やデータの整理・解析が進められている現状の説明があった。資料寄託の後、「ボーンデジタル資料整理」という未開の状況から試行錯誤されたことや、海外からの協力、そこからの展覧会開催等、探りながらの地道且つ持続的活動を伺うことができた。また今後、葉資料の一部が収蔵されているカナダ建築センター(CCA: Canadian Center for Architecture)と協働しながらの将来展望についても触れておられ、新たなアーカイブズ活動の期待が膨らむ調査となった。

4.2. 武蔵野美術大学美術館・図書館／ 芦原建築設計研究所 芦原義信建築資料

芦原義信建築資料が収蔵されている武蔵野美術大学及びボーンデジタル建築資料を現在管理している芦原建築設計研究所(現・芦原太郎建築事務所内)への調査を行った。

紙媒体等の原資料はすべて武蔵野美術大学美術館・図書館に寄贈されている一方、デジタルデータは芦原建築設計研究所にて保管されている。現存するデータとして、フロッピーなどの旧式記録媒体からHDDへのデータコピーは完了しているが、確認できるデータと確認できないデータが混在しており、今後の整理方針については検討中である。事務所としては武蔵野美術大学へのデータ寄贈を進めたいそうだが、大学側の受け入れ体制検討からというのが実情であった。データ保存している事務所自体は稼働しているため、できる限り所内でのデータ整理や目録作成、推奨保存形式でのデータ変換などを行い、円滑な寄贈準備を進めて

おくことで、よりスムーズな寄贈につながる可能性を見ることとなった。

5. 現状調査アンケート

国内でのポーンデジタル資料整理の状況を知るべく、建築・デザイン資料収集、保存を行う12の団体へアンケートを依頼した。以下6団体から回答いただき、報告書ではその内容をまとめている。

- 日本建築学会 建築博物館委員会
- 東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻
- 谷口吉郎・吉生記念金沢建築館
- 京都大学研究資源アーカイブ
- 武蔵野美術大学 美術館・図書館
- 金沢工業大学 建築アーカイヴス研究所

アンケートでは回答のほか意見もいただき、それぞれで対応策並びに受入可否を含め検討が進められていることがわかった。同時に、ポーンデジタル資料の保存・寄贈に関する相談が増えていること、対応に難儀していること、整理収集に向けての指針が足りないことなどが鮮明となった。

6. 資料整理作業工程策定

ポーンデジタル建築資料整理作業策定を進めるにあたり、用語の整理並びに4つの報告書を読み解き、それぞれの概要をまとめた。特にオンライン上で情報更新しているカナダ建築センター (CCA) のフォーマットポリシーレジストリ (資料保存形式基本方針) は全訳し、今後の検討資料とするとした。

6.1. 用語集

調査した報告書やレポートの多くに用語集 (Glossary) が添えられており、今回の報告書にも主要となる69の用語を添えることとした。本やレポートの翻訳を進めながら、作業中で不明なものや、日本語英語として頻繁に使われながらも曖昧な語彙を中心に用語集としてまとめている。現在進行形で日々状況や情報が更新されるポーンデジタル資料界隈では、今後もこれら用語の更新及び見直しが必須である。

6.2. 海外建築資料保存機関での取り組み

ポーンデジタル資料整理の最新資料は、2022年に出版された Trends in Archives Practice シリーズの *Born-Digital Design Records* (Society of American Archivists 出版) であるが (2024年調査時)、本調査では、以下4件

のオンライン公開されているレポートを取り上げた。内容詳細については、本報告書を参照されたい。また、より最新の総合的な情報として上記本を読まれることも推奨する。

6.2.1. Canadian Center for Architecture (CCA), Digital Archives Processing Manual / カナダ建築センター(CCA) デジタルアーカイブズプロセスマニュアル³

2020年5月に公開され、現在もオンライン上で更新されている CCA によるポーンデジタル建築資料作業マニュアルである。CAD データといったポーンデジタル建築資料保存について、2013年の展覧会「Archaeology of the Digital program (デジタルの考古学)」を皮切りに先駆的に調査、体制構築、収集、整理を続け、そのマニュアルを公開している。

オンライン上の概要 (Overview) にて作業概要がまとめられている。建築アーキビストにとって、普段見慣れないデジタル用語が並んでおり、IT 専門家のためのマニュアルのような印象を受けるが、ポーンデジタル建築資料整理の流れと内容を知ることができる。CCA のようにフリーソフトも併用し、資料整理・保存するということは、建築のアーキビストのみならず、デジタルデータや IT 専門家が館内に在籍し、成り立っている実情がわかる。

6.2.2. Archiving Digital Architectural Records (ADAR), Securing and enabling access to knowledge for the future Project Report / デジタル建築資料アーカイブ (ADAR) プロジェクト報告書⁴

2016~2019年に公開された南オーストラリア大学建築博物館と RMIT デザインアーカイブ共同で進められた ADAR プロジェクトの報告書である。オーストラリアの建築事務所による協力を仰ぎ、ケーススタディを中心とした調査内容となっている。前述の CCA よりも早い時期に公開されたものであり、ポーンデジタル資料整理について検討する際の導入として、特に実務者に参考となる情報がまとめられている。報告書内にまとめた研究機関向け推奨事項は、ポーンデジタル建築資料の第一歩を検討・実行する際に役立つと思われる。

6.2.3. Digital Preservation Coalition (DPC), Preserving Born-Digital Design and Construction Records, DPC Technology Watch Report / デジタル保存連合 (DPC) 報告書⁵

2021年12月公開。英国拠点のデジタル保存連合 (Digital Preservation Coalition /DPC) によってまとめられたボーンデジタル建築資料長期保存についてのレポートである。アーキビスト、設計並びに施工実務者に向け、選別、保存、閲覧についての手法等が幅広くまとめられている。特に報告書内で取り上げた規模が異なる二つの研究機関での比較は、規模及び取り組みレベルで落とし所を見つけながら作業している様子を垣間見ることができた。また、デジタル資料保存基準を進めるリソース並びに推進事項をまとめている。

6.2.4. Frances Loeb Library at the Harvard University Graduate School of Design, Building for Tomorrow, White Paper / ハーヴァード大学デザイン大学院 フランシス・ローブ図書館ビルディング、フォー・トゥモロー報告書⁶

ハーヴァード大学デザイン大学院 フランシス・ローブ図書館が、博物館・図書館サービス機構 (IMLS) の支援のもと進められた調査の報告書である。2018年調査の後、2021年に報告書が公開された。本調査報告書では長期保存推奨事項部分をまとめたが、これは研究機関、建築事務所共に参考となるシンプルな内容を網羅しており、ボーンデジタル建築資料整理稼働時の検討に非常に参考になると考えられる。

6.3. 各機関の比較検討

前述4つの概要並びに、本調査で課題点については、調査報告書内で推奨比較をまとめている。以下、本調査での課題事項となる。

- 長期保存が必要な資料の選別
- データ真正性の確保
- アーカイブズ機関が担う機能に合わせたフォーマット
- 各保存フォーマットの変換方法
- 階層構造の設定方法
- メタデータの作成と維持管理
- PC スペック
- 導入システム、ツール

7. まとめ

本調査では、ボーンデジタル建築資料の動向、整理の現状・課題に対し、機関における方針確立の上での稼働、そして技術の進行と共に変化している状況を知ることとなった。

- 機関のボーンデジタル建築資料収集方針に則って資料選別がなされる。機関毎に収集方針をまとめることがまず重要であり、その方針は定期的に見直されるべきであると訴えられている。
- ディスクイメージ化、チェックサム、スケジューリングされたバックアップ体制、複数箇所での保存といったITの体制の下で、データやファイルの真正性が保たれている。
- データが作成されたオリジナルバージョンのソフトを入手し、可能な限りオリジナルでのデータ確認、保護を目指している。一方で業界として、将来的に長期保存及び利用が可能になるようソフトウェア制作社への働きかけも進められている。
- オープンフォーマットでの資料保存が長期保存に有効である。
- 寄贈者との対話、情報交換がとても重要である。その情報がデータ保存の第一歩となり、その後のデータ確認、長期保存計画につながる。
- 同ファンド内における紙媒体といったオリジナル資料とボーンデジタル資料の扱い方について、総合的判断が求められる。補完資料なのか、一次資料なのかといった位置付けによって整理方針や計画が立てられる。
- デジタルアーキビストは相当なITスキルを持っており、オープンフォーマットのソフトウェアを駆使しながら、さらに独自のニーズに合わせて改変 (エミュレーション) している。オープンフォーマット導入に費用はかからないが、ITに精通したスタッフがいないとかなかなか使いこなせないのが現実である。
- 保存フォーマットやソフトウェアなど、常に状況は変化している。随時その最善策を確認しながら、柔軟な対応・対策をとることが求められる。

さまざまなケーススタディを通し、規模や体制によってそれぞれ段階的、試験的に進められていることもわかり、大きな励みにもなった。アンケートでは国内事情を垣間見ることができ、NAMAへの大きな期待を感じざるを得ない実情を知ることとなった。アンケート回答いただいた団体各位に改めて御礼を申し上げたい。

今後、ボーンデジタル建築資料整理を進めるにあたり、現状まず求められることは以下となる。

- 1) NAMA でのボーンデジタル資料収集方針を検討、並びに策定
- 2) 寄託中のデータについてのヒアリング
- 3) 寄託中の旧記録媒体からのデータ取り出しを開始
- 4) 1の方針に沿った導入システムと IT 機器の準備及び体制構築

NAMA の今後の展開においてはボーンデジタル建築資料についての課題整理からとなるが、既に補完資料としてのデジタル資料寄託は始まっている。まず手元の旧式媒体データについては早々に取り出しを進め、確認することが求められる。一方、参照した海外事例にも強く書かれていたとおり、機関におけるボーンデジタル建築資料収集方針を策定することが必須となる。今後の収集において、デジタル資料は必ず含まれてくると推察され、本調査が今後の活動指針の一助となることを期待したい。

別添

原広司+アトリエ・ファイ建築設計資料のHDDに含まれる資料一覧

現在、収蔵検討および資料整理のためにNAMAが借用しているボーンデジタル資料は、原広司+アトリエ・ファイ建築設計資料のハードディスク(HDD)、高橋航一・第一工房資料のMOディスク、川添登資料のフロッピーディスクが挙げられる。本稿では、この内、ディスクの内容を確認できた原広司+アトリエ・ファイ建築設計資料のHDDを対象に、資料種別とそのデータ形式をプロジェクト毎に一覧とした。

原広司・アトリエ・ファイ建築研究所では、アーカイブズ寄贈用として、ボーンデジタルの設計資料を書き換えのできないPDF形式に変換する作業が実施されていた。そのため、NAMAが借用しているHDDには、変換後のPDFデータや、事務所でスキャンされたスケッチ等が主に保管されており、オリジナルの設計データはほとんど含まれていない。

また、本一覧に掲載されている各種データについては資料整理中のため、現時点では閲覧・利用対象ではないことを申し添えておく。

注

- 1 文化庁国立近現代建築資料館 収集方針
<https://nama.bunka.go.jp/overview/houshin.html>
- 2 浜田英明, 藤本貴子, 竹内徹. 近現代建築に関わる構造資料の承継とデジタル資料管理について. 国立近現代建築資料館紀要, Vol.3 2023
https://nama.bunka.go.jp/wp-content/uploads/2025/05/02_bulletin_of_nama_vol3_2023.pdf
- 3 Canadian Center for Architecture (CCA), Digital Archives Processing Manual (2020年5月公開)
<https://github.com/CCA-Public/digital-archives-manual>
- 4 Archiving Digital Architectural Records (ADAR), Securing and enabling access to knowledge for the future Project Report
2016年12月公開
<https://unisa.edu.au/contentassets/3f987712f4414dfab008be4d79a86a19/adar-report-220317.pdf>
2018年6月公開
https://www.natspec.com.au/images/PDF/ADAR_NF_REPORT.pdf
2019年6月公開
https://unisa.edu.au/contentassets/875d9bf8bb2e4c3a946549a66a65a7c0/adar_nft_report.pdf
- 5 Digital Preservation Coalition (DPC), Preserving Born-Digital Design and Construction Records, DPC Technology Watch Report (2021年12月公開)
<https://www.dpconline.org/docs/technology-watch-reports/2555-techwatchreporttemplate-v06-leventhal-thompson-final/file>
- 6 Frances Loeb Library at the Harvard University Graduate School of Design, Building for Tomorrow, White Paper (2021年6月公開)
https://www.gsd.harvard.edu/wp-content/uploads/2023/04/building_for_tomorrow_whitepaper_version_1.0-final2.pdf

(2026年1月22日原稿受理)

別添 原広司+アトリエ・ファイ建築設計資料の HDD に含まれる資料一覧

PJ番号	プロジェクト名	年	基本・実施図	竣工図	CG, パース	写真	スケッチ	掲載誌	動画	その他
-	RAS時代 有孔体A-House	-				tif				
-	リビア大学都市計画	-				tif				
-	原広司院時代の作品(実験プレハブ住宅)	-						tif		
002	国立京都国際会館競技設計応募案	1963				jpg, tif				雑誌用図面 (jpg)
003	久田学園佐世保女子高等学校	1963				jpg, tif				雑誌用図面 (jpg)
005	国民宿舎丹沢ホーム(第1期)とバス待合所	1964				tif				
009	有孔体の世界(エンバイラメント展出品作品)	1965				jpg, tif				
010	山岸旅館	1965				tif				
016	川越市立霞ヶ関小学校	1966				tif				
017	スキーロッジ計画案	1966				tif				
018	伊藤邸	1967	jpg			jpg, tif		pdf		
019	佐倉市立下志津小学校	1967				tif				
026	慶松幼稚園	1968	jpg, tif			jpg, tif		jpg		
028	インダクション・ハウス	1968				jpg, tif				
033	THE HOLE(バリ・ビエンナーレ展出品作品)	1969				tif				
039	箱根国際観光センター競技設計応募案	1970				tif				
040	ACT 2	1970						jpg		
042	海の博物館	1971				tif				
043	粟津邸	1972				jpg, tif				
044	伊豆の釣り小屋	1972				tif				雑誌用図面 (jpg)
046	志津駅前計画	1972				tif				
051	原邸	1974	pdf	pdf		jpg, tif	pdf		mp 4	確認申請図 (pdf)
052	工藤山荘	1976	jpg, pdf			jpg, tif				
055	倉垣邸	1977				jpg, tif				
056	一滴庵	1977				tif				
059	ニラム邸	1978				jpg, tif				
061	湯布院山荘(脇坂邸)	1978				tif				
063	ホームベーカーリーマザーグース池袋店	1978						jpg		
065	東総住宅都市建設計画	1978				tif				
066	松樺堂	1979				tif				
067	秋田邸	1979				jpg, tif				
076	末田美術館	1981								口絵 (jpg)
077	鶴川保育園	1981	jpg			jpg				
083	伊豆・夢舞台-中塚別邸	1982				jpg, tif				
084	ラ・ヴィレット公園バリ国際設計競技	1982								
087	バスティーユ・オペラ座バリ国際設計競技	1983				tif				
093	嶋邸	1985				tif				掲載用図面 (jpg)
098	北川邸	1986				tif				
099	田崎美術館	1986				jpg, tif				掲載用図面 (jpg)
100	小波蔵邸	1986				tif				
101	工藤邸	1986				tif				
102	ヤマトインターナショナル	1986				jpg, tif				
104	影のロボット(ミネアポリス展1986)	1986				jpg, tif			mp 4	
106	虔十公園林フォリストハウス	1987				jpg, tif				
107	那覇市立城西小学校	1987	pdf			jpg, tif	pdf			計画概要書(pdf)
110	ケルン・メディアパーク都市計画構想国際提案競技	1988				jpg, tif				
112	飯田市美術博物館	1988	pdf			jpg, tif				構造図 (pdf)
113	大沢屋茶室 游喜庵	1988				jpg				
117	相鉄文化会館	1990				tif				
119	つくば市立竹園西小学校	1990				tif				
120	モンリオール国際都市設計競技	1990				jpg				
129	アーバンスケープ・ファニチュア(Future in Furniture)	1992				jpg				
130	内子町立大瀬中学校	1992	pdf	pdf		jpg		pdf		

PI番号	プロジェクト名	年	基本・実施図	竣工図	CG,パース	写真	スケッチ	掲載誌	動画	その他
132	地球外建築	1992				jpg, tif				
133	新梅田シティ	1993	pdf	pdf		jpg, tif			mp4, m4v	雑誌用CHスキャン (jpg, pdf)
134	プラトン・ボックス 500M×500M×500M	1993				jpg, tif				パネル (jpg)
138	25MUSIC STANDS	1995				jpg				
142	原ハウス	1996	pdf							説明会資料 (pdf), 確認申請図 (pdf)
145	JR京都駅ビル	1997	pdf			jpg	jpg	pdf	mov, wmv	
149	宮城県図書館	1998				jpg, tif				
150	(5800mm) 3 原邸増築	1998				jpg				
151	(7000mm) 3 松本邸	1998				jpg, tif				
152	(5200mm) 3, (6400mm) 3 + 書斎 伊東邸	1998				jpg, tif				
154	広島市立基町高等学校第Ⅰ期	1999	pdf							
155	医療法人たかき医院	1999	dxf			jpg				実施設計図面, 確認申請書類
156	東京大学国際・産学共同研究センター	1999	pdf							
157	東京大学先端科学技術研究センター	1999	pdf, txt			jpg				
158	秋田市日赤・婦人会館跡地等再開発における商業施設企画提案	1999	pdf			jpg				報告書 (pdf)
159	Urban Micro Topograhy in SOHO	1999				jpg				
163	広島市基町高等学校第Ⅱ期	2000				jpg				
164	医療法人葦崎東ヶ丘病院	2000	pdf	pdf		jpg, tif, pdf				
166	青森県立美術館設計競技	2000				tif				成果物 (pdf, txt, psd)
168	苦楽園プロジェクト	2000	pdf			jpg				
169	東京大学生産技術研究所	2001	pdf			jpg			mp4	
170	札幌ドーム	2001		pdf, tif, exe, bmp	tif	jpg, tif	jpg		mov, wmv	構造図 (pdf), 成果物まとめ (pps, ppt, pdf, xls, doc, avi)
171	国立高専沖繩プロポーザル	2001	pdf				jpg			
172	イタリア・ピアモンテ州庁舎国際設計競技 (トリノ1)	2001				jpg	tif		wmv, avi	提出パネル (jpg)
173	SKテレコム本社屋指名プロポーザル	2001					jpg			提出パネル (pdf, jpg)
175	長崎県美術館プロポーザル	2001				jpg	jpg			成果物 (pdf)
176	飯田高羽合同庁舎	2002	pdf	pdf						
177	折本邸	2002	pdf			jpg, tif				
178	離散都市埋蔵計画 (上海)	2002	pdf			jpg, tif				
179	離散都市埋蔵計画 (札幌)	2002	pdf			jpg				
180	大エジプト博物館国際設計競技	2002								成果物 (jpg)
181	北京オリンピックスタジアム国際指名設計競技	2003				jpg	dwg		b u p . i f o , v o b	説明書 (eps, ai, psd, jpg, tif), パネル (jpg, psd, ai, doc), テキスト (doc)
182	十日町ステージ越後妻有交流館 キナーレ	2003	pdf	pdf		jpg, png, tif				構造図 (pdf)
183	那覇市立城西小学校 (特別教室棟)	2003		pdf		jpg, tif				構造図 (pdf)
185	ホンダクリオ千葉八街店	2003	pdf	pdf		jpg				
186	医療法人葦崎東ヶ丘病院 (第Ⅱ期)	2004	pdf	pdf		jpg				
187	広州市双塔 (西塔) 国際指名設計競技	2004				jpg, tif	jpg		wmv	パネル (jpg)
188	ニコラス・G・ハイエクセンター指名設計競技	2004							mov	提出物 (pdf, mov, mp4, txt)
189	実験住宅モンテビデオ	2004	pdf			jpg, tif	jpg		mov, avi	手紙スキャン (tif)
190	小野邸 (フォリストハウス建て替え)	2004	pdf							
191	今村邸	2004	pdf			jpg				
192	しもきた克雷ドーム・むつ市ウェルネスパーク・センターハウス	2005	pdf	pdf		jpg			wmv, mp4	構造図 (pdf), コンパパネル (jpg)
193	了円院	2005	pdf	pdf		jpg				
194	台北巨蛋 (台北ドーム)	2005				jpg	jpg			パネル (pdf, jpg)
195	横須賀市宮鴨居住宅建替建築設計エスキスコンペ	2005				psd, jpg, eps	ai, eps, psd			提出資料 (pdf)
196	旧大和田小学校跡地施設プロポーザル	2005								提案書 (pdf, jpg)
197	実験住宅 コルドバ	2005	pdf, jpg			jpg				

PI番号	プロジェクト名	年	基本・実施図	竣工図	CG,パース	写真	スケッチ	掲載誌	動画	その他
198	Σ 8	2005					jpg			提出資料 (pdf, jpg)
199	国立感染症研究所ハンセン病研究センター新研究実験棟プロポーザル	2005								ヒアリング・先生原稿 (pdf)
200	町田市新庁舎プロポーザル	2005				jpg				提出資料 (pdf)
201	広島プロジェクト	2006				jpg		pdf, jpg	avi, mov, m1v	提出図書 (pdf, ppt), プレゼン資料 (m1v, ppt, pdf)
202	NEW HEADQUARTERS OF SANPAOLO IMI (トリノII)	2006				tif	jpg			パネル (jpg), 提出資料一式 (pdf, doc, lnk, ai, xls)
203	実験住宅 ボルト・アレグレ・ヴァージョン	2006	pdf			jpg	jpg			手紙スキャンデータ (tif)
204	福島県立会津学鳳中学校・高等学校	2007	pdf		jpg	jpg	jpg			構造図 (pdf)
205	夢舞台アネックス・紅傳工房	2007	pdf	pdf		jpg				
206	太原南駅周辺地区都市計画	2007				jpg, nef	jpg		wmv	提出パネル・説明書 (jpg, pdf)
207	デリー・メトロの3つの駅周辺地区計画	2007				jpg, nef			wmv, wav	
208	三条市斎場プロポーザル	2007								提出パネル (pdf, png)
209	長岡市厚生会館地区整備設計コンペティション	2007				jpg, psd				提出パネル (pdf)
211	ダブル・プランニング N-House計画(野田邸)	2008				pdf	jpg			
212	日本エジプト科学技術大学指名コンペティション	2009								報告書 (pdf), 提出パネル (pdf)
213	天津エコシティ	2009							mp4, wmv	提出パネル (jpg, tif)
214	小野邸アトリ増築	2009	pdf							確認申請図 (pdf)
215	恵友遠見? 公大樓 (新竹1)	2010	pdf			jpg, png				構造図 (pdf)
216	恵比寿のオフィス	2010	pdf	pdf				pdf		構造図 (pdf)
217	Raiding Cube	2010				jpg	jpg			成果物まとめ (pdf)
218	実験住宅 ラバス	2010				jpg	jpg			
220	草薙体育館プロポーザル	2011				jpg				提出パネル (pdf)、プレゼン資料 (pdf)
221	小野邸増築	2012	pdf			jpg	jpg			
223	恵友原見築集合住宅 (新竹2)	2012				png, jpg				
224	かじまや靴店	2013	pdf	pdf		jpg	jpg			
225	Raiding Project	2013	pdf			jpg, tif	jpg		mov	
226	ハノイ市都市鉄道建設計画(二号线) C1~C3	2014	pdf			jpg	jpg			
228	みなと交流センター	2015	pdf	pdf		jpg	jpg	pdf		プロポーザルパネル (pdf)
229	Three Travelers	2015	pdf			jpg	jpg, rtf			
231	慶松幼稚園改築	2017	pdf			jpg, png, pdf	jpg			
232	城西小学校屋内運動場・幼稚園・児童クラブ増築	2018	pdf		jpg	jpg	jpg			計画通知書類 (pdf), 雑誌用図面 (pdf)
233	eggg Caf_	2018	pdf	pdf		jpg		pdf		雑誌用図面 (pdf)
234	孔雀堂	2019		pdf	jpg	jpg				
235	鶴巻町プロジェクト	2020		pdf		jpg				見積図 (pdf)
236	珠洲プロジェクト	2020				jpg	jpg, pdf		mp4	
237	美仁段プロジェクト	-	pdf			jpg	jpg, pdf			
238	北投プロジェクト	-	pdf			jpg	jpg			プレゼン資料 (pdf)
239	上海プロジェクト	-	pdf			jpg, pdf	jpg			
240	(仮) 葛飾 Light-well Complex	-	pdf			jpg, pdf	jpg, pdf			報告書 (pdf), 構造図 (pdf)
241	eggg Park	-				jpg	jpg			見積図 (pdf), 構造図 (pdf)
242	飯田市美術博物館 特定天井補強工事	-	pdf	pdf		jpg	jpg			
242	十日町キナーレ2022監視カメラ	-	pdf	pdf						
242	西五反田W-gates Tower	-	pdf			jpg, pdf				
243	十日町キナーレ改修2023温泉棟	-	pdf	pdf						
245	奈良(森山荘)	-					jpg, pdf			報告書 (pdf)